防災ラボ通信 Vol.9

高エネルギー吸収型落石防護柵 J-キャフネット300新発売のご案内！！

JFE

挑み続けるケンザイで、
安心と笑顔のあふれる未来を。

「J-キャフネットシリーズ」に待望の300kJタイプが加わりました。

大きな特長はトリプルセーフ機構による安全性の担保と、阻止面を道路側に設けることによる維持管理性の向上です。

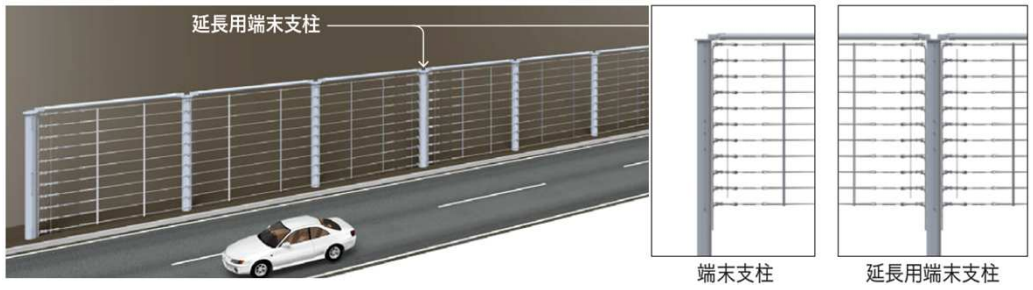
進化した高エネルギー吸収型落石防護柵をぜひご確認ください！！

落石衝突時の道路側への張出長についても
従来工法と同等以下となることを確認済です



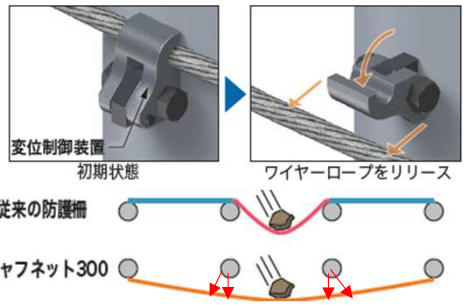
最小設置延長3スパン、L=15m、最大支柱間隔10m
端末支柱のみCFT:コンクリート充填鋼管を使用します(延長用端末支柱を含む)

J-キャフネット300は3スパンで1ユニットになっています。
延長用端末支柱はユニットを連続設置する際に用います。



端末支柱　延長用端末支柱

トリプルセーフ機構-1：変位制御装置による衝撃分散！



一定以上の動的荷重に反応してワイヤロープをリリース

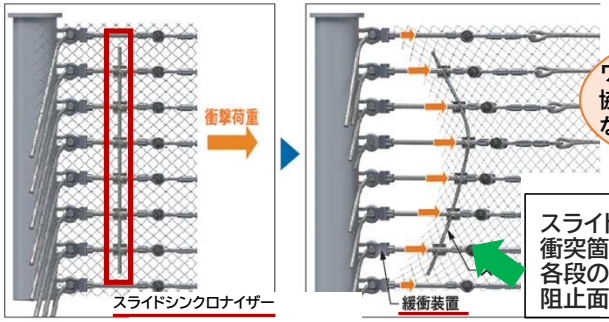


スパン同士で
協力して受止める
構造なのね！

←落石の衝撃を受けると変位制御装置が作動して、隣接スパンへ荷重を伝える構造です！

←阻止面を支柱の道路側に設けることで、
ワイヤロープの全長で衝撃を吸収し、
局部的な荷重集中を抑制します

トリプルセーフ機構-2：スライドシンクロナイザーによるロープの全段連動！



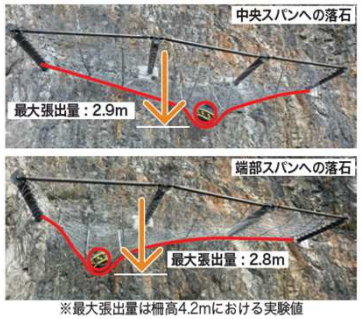


ワイヤロープ同士も
協力して受止める構造
なのね！

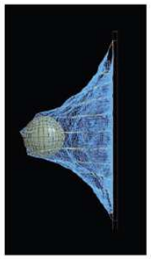
スライドシンクロナイザーが落石荷重を
衝突箇所以外のワイヤロープへ伝達し、
各段の緩衝装置が連動しながら
阻止面全体で分散・吸収する構造です！

トリプルセーフ機構-3：包み込み捕捉による効率的な落石の捕捉！

実物大実験による性能検証済
(中央スパン・端部スパン)



※最大張出量は柵高4.2mにおける実験値



3次元立体解析

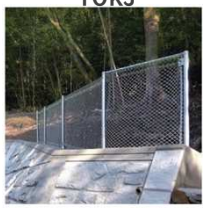
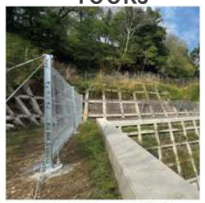
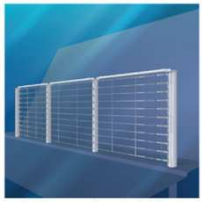


包み込んで離さない
から安心・安全ね！

←最上段および最下段の緩衝装置の
作動量を制御することで、
落石を包み込んで確実に捕捉します

落石エネルギーの規模に応じたJ-キャフネットシリーズをぜひご活用ください

【対応エネルギー】

~10kJ	~50kJ	~100kJ	~300kJ
			
»J-キャフネット10	»J-キャフネット50	»J-キャフネット100	»J-キャフネット300

落石対策に関するお悩み・現場調査のご依頼はJS斜面工法協会まで！
日本全国36の会員会社が、調査から工事までお手伝い致します！
事務局:JFE建材㈱　防災商品営業部内　TEL:03－5715－7640